

お西さん

2006
9-10



別院境内 親鸞聖人像

「なごみ」の寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

**報恩講のため10月11日(水)~17日(火)までの間
月忌参りはお休みさせていただきます。ぜひ、本堂にお参り下さい。**

平成18年

宗祖親鸞聖人

報恩講

日時

十月十三日(金) 午前十時三十分より

台町出張所 報恩講

十月十三日(金) 速夜より

十六日(月) 満日中まで

東川町 本院本堂にて

・晨朝(おあさじ)……十四日～十六日 午前六時三十分より

・日中……十四日～十五日 晨朝引き続き

・速夜……十三日～十五日 午後一時三十分より

・初夜……十四日～十五日 午後六時三十分より

・満日中……十六日 午前十時より

慶びの広場……十六日 正午十二時より

※十四日(土)～十六日(月)まで、おとき(食事)をご用意しておりますので、お召し上がりください。

講師

北海道教区 空知北組 竜泉寺 寺垣 信晃氏

宗祖親鸞聖人のご苦勞ご遺徳を偲び、報恩謝徳のころをあらわす法要「報恩講」が、十月十三日より十六日まで、別院本堂にてお勤まりになります。

報恩講の起こりは、親鸞聖人のご往生の後、聖人を師と仰ぐ人々が、聖人のご命日にお念仏を喜ぶ日として集まりを持ちました。その聖人の三十三回忌(千二百九十四年)にあたり、第三代覚如上人は、そのご遺徳を讃仰するために「報恩講私記」をつくられ、法要を営まれました。翌年には「御伝記」と「御絵伝」の元となる「善信聖人絵」二巻がつくられました。以来親鸞聖人のご命日を報恩講として、お勤まりになつています。五十年ごとには大遠忌として勤まり、二千十一年(平成二十三年)には京都の本願寺において七百五十回大遠忌をお迎えすることとなります。報恩講は全国各地で秋から初春にかけて勤まる、もつとも大切な仏事で、お寺であるいは各家庭で親鸞聖人

のご恩を聞かせて頂き、このご恩に報いる道をたずねさせていただくことが、この報恩講の大切な意義であります。

また、法要の後のお斎(おとき)と呼ばれる会食では、それぞれの地方色あふれる食材を使って、精進料理にでもてなされます。昔は各家庭より食材を持ち寄り、みんなで調理をし、献立にも色々な意味があったとも聞きます。伝統の料理を頂きながら、先人に感謝し、ご法義を慶び、聖人のご遺徳に思いを馳せさせていただきます。

平安時代末期から鎌倉時代初期の動乱の時代を生きられ、激しく移り変わる社会状況に、人間の心の中に潜む末法のすがたを見抜かれ、自らを煩惱具足の凡夫と思ひ知らされずにはいられなかつた親鸞聖人。共々に、聖人のご苦勞と仏様のみ教えを聞かせて頂き、お念仏申させて頂けることに感謝させていただきます。是非お参り下さい。

作品募集中

報恩講において、御門徒さんの絵画、陶芸、習字その他の作品展を開催いたします。賑やかな作品展にしたいと思いますので、自薦・他薦を問わず、多数の御参加、出品をお願いいたします。

秋季彼岸会

日時

九月二十二日(木)

午後二時三十分より

台町出張所彼岸会

九月二十二日(金)

二十四日(日)

・晨朝……午前六時三十分より

・速夜……午後一時三十分より

東川町 本院本堂にて

講師

北海道教区 空知北組 光明寺

三栗 顕曜氏

●本院納骨堂及び台町墓地におきまして
二十一日(木)～二十四日(日)まで
おつとめを致します。

●二十三日(土)は本院にてラムネとおだんごを
用意致しますのでどうぞご利用下さい。

●秋のお彼岸は、お花の販売は致しておりません。

ようこそ函館へ

常例布教使さん紹介

九月十二日(火)～十六日(土)



福岡教区 夜須組
浄覚寺

渡邊 崇之氏

この度、本願寺函館別院にて九月の常例布教のご縁に遇わせていただきます。福岡は筑前の小京都、秋月という小さな城下町からお世話さまになります。お世話を申し上げます。渡邊と申します。

その昔、いつも一緒の仲良しグループの方々、日頃の疲れを癒すため
に温泉にでもつかりに行こうと話が盛り上がったとのこと、そんな中にあるお同行は「私は日頃の疲れをとり、心を休めるために、お寺に参ります。」と温泉ではなく、お寺へお聴聞に出かけられたと聞きます。そう、温泉ではなしに仏さまの

お心につかられたのであります。

九月十二日から十六日までの御縁を頂戴いたしますが、お同行の皆様と一緒にゆつくりと仏さまのお心につからせて頂きたいと思っております。

この五日間では、日暮しの中で慶ばせて頂いている「仏さまのお心」、日ごろの家庭生活でかみ締めさせていただいている「仏さまのお心」をお取りつぎさせて頂こうと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

本願寺江差別院

平成十五年七月二日より、函館別院の輪番が江差別院を兼任されました。私が常駐職員として江差別院にお勤めさせて頂いてから、早くも二年が経ちました。

江差別院は、明治十二年に認可を得た北海道の真宗寺院(お西)では、最も歴史の古いお寺です。この歴史ある別院を代々護つてこられたご門徒さんにお育て頂きながら、そして、その別院でお勤めさせて頂いていることを喜び、感謝しながら毎日を送っております。

ご存知の通り、函館別院はその歴史の中で何度かの火災に遭っております。昭和九年の大火では本堂も全焼いたしました。しかし江差別院はそのような災害に遭うこともなく、明治十三年の落成以来の姿をそのままに現在に至っております。最近では、北海道の歴史的建造物として各方面より調査依頼を受けております。ぜひ一度ご参詣下さい。

私は函館別院と兼務ですので、両別院の法要行事に出勤参加させて頂いておりますが、何か私一人では勿体無い気がします。輪番兼任のこの機会にぜひ、ご門徒との方々にも交流を深めて頂き、法要や行事にも行き来できたらなあと思っております。十月の函館の報恩講にはまた、江差のご門徒と伺います。十一月の江差の報恩講には、たくさんのご参拝をお待ちしております。詳しい日程は次号で紹介させて頂きます。

吉村 教史

本願寺江差別院(0139)52-0567

ご参拝の際には、どうぞご報下下さい。

密着!!

お寺さん

西別院のテレホン法話は僧侶職員が順番に収録しています。今回は平田さんの収録に密着!

新コーナー 「テレホン法話」収録の様子



う〜ん、どうしよう…

原稿ができたらいざ収録。録音時間は3分。収まらないときはやりなおしです。





お念仏の教えは…

週末、仕事が終わってから原稿を書きます。





「お念仏の教え、リヤ! …間違えた〜! またやり直しっ!

27-2424(にしにし)にダイヤルすると…

日曜日の朝にテープを入れ替えてカウンターをリセットします。

途中で噛んでもやりなおしです。うまく収まらないときは言葉を削ったり変えたりしてやりなおします。

ふれ愛声インタビュー

戸倉町にお住まいの青木さんは、今年十月に九十歳になられます。お寺からの「盆踊りに提灯を作りませんか?」というプリントを見られて「一つお願いします」と言われまして。そこで私は、「じゃー当日提灯を見に来て下さいね」という会話をしておりました。

当日、青木さんにお会いすることはできませんでしたが、後日お参りに伺いました時に「盆踊りの日寒かったので、冬支度をし、バス、タクシーを乗り継いで見に行きましたよ」とお話下さいました。「提灯は見つかりましたか?」とお聞きしますと、「カメラを持って提灯を探したけど数が多すぎてなかなか見つかることができませんでしたよ。あきらめかけていたその時、ふとやぐらの上の方に目をやった時にあつたんです。さっそく写真を撮りましたよ。見つかってよかったです。」と嬉しそうにお話下さいました。この会話を聞きなんだか私も嬉しくなりまして。今年九十歳とは思えない元気な方だなと思うとともに、こうした一つ一つのご縁を大切にしていきたいなとあらためて感じさせて頂く出来事でした。



西光寺

お西さん

盆踊り

おどい

スナッフ集

★去る7月22日(土)、毎年恒例の盆踊りが西別院境内にて行われました。天候が心配な中、無事はじまりました。四稜郭太鼓の響きに、函館斗燃衛組の力強いYOSAKOI、龍谷幼稚園園児の「じょんがら節」があり、各教化団体による、おでん、たこ焼き、フライドポテトも大変美味しかったですね。しかし残念なことに途中で雨が降ってしまい、文化会館に移動することになってしまいました。その後は文化会館内でYOSAKOIの後半、そして別院若手僧侶によるショーは大変盛り上がりました。アルゴリズム体操〜♪と思いきや、いきなり長州小力ならぬ長州太力が乱入し、今回はパラパラを踊りました。来年こそは晴天の中で…!と思いました。来年も是非遊びに来て下さいね!!



子ども盆踊り。しかしこの後雨が…。



壮年会による「たこ焼き」、おいしそう…



四稜郭太鼓の力強い演奏が響きわたりました。



龍谷幼稚園園児による「じょんがら節」。かわいらしかったな。



たくさんの方が来場されました!



函館斗燃衛組によるYOSAKOI。雨のため文化会館で踊っていただきました。



別院職員による踊り(パラパラ)。長州小力ならぬ長州太力の正体とは…?

教化団体だより

■ボーイスカウトだより

「第十四回 日本ジャンボリーに参加して」

去る、八月の二日より九日迄石川県珠洲市で行われた第十四回日本ジャンボリーに参加してきました。

全国より約二万数千人のスカウト、指導者が集まる全国大会で当別院よりも九名参加いたしました。途中長野県の集中豪雨の関係で往復の寝台列車が運休となり青森からバスでの移動となりました。到着日より日中の気温が三十七度と北海道より参加しているスカウトには熱中症・熱射病予防に万全の体制をもつて望んだにも拘らず体調不良を訴えるスカウトが数名おり、真夏の太陽の力強さを思い知りました。

五日間キャンプ生活、テントの設置に始まり立ちか

まどの制作、水汲みから排水、配給品の受け取り、炊飯や夜の交歓会そして午前・午後の活動プログラム。

大きな怪我や病気もなく色々な体験をしてきました。たくさんさんの友達を全国に作り、またたくさんさんの思いを胸に黒く日焼けし



た顔と汗臭いTシャツをお土産に元気に帰って来る事が出来ました。これから

もジャンボリーの経験を活かしてスカウト活動に励みたいと思います。 高倉

■仏教婦人会だより

仏教婦人会の研修旅行が八月二十三日に乙部「光林荘」の送迎バスで天候にも恵まれ函館別院二十一名、江差別院六名の参加で行われました。

別院を九時頃出発し江差別院で参拝をして、吉村さんからお寺の歴史御内仏等を見学させて頂いてから、一緒に乙部の光林荘に向いました。

乙部名産の百合根のお料理を食し、温泉につかり日頃の疲れをいやす事ができました。和やかな時間も過ぎて三時頃江差別院の方々と再会を楽しみにお

別れをし、別院に夕方着きました。参加者の中には九十二歳の方も居りました。が、全員元気に楽しい有意義な一日研修旅行でした。

小林 とよ



お知らせ

■九月十二日(火) 正午、

常例仏婦の日

■九月二十三日(土) 午前九時、

奉仕活動

(団子・ラムネの販売)

■十月の予定は葉書にて連絡いたします。

■覚信尼会への誘い

覚信尼会は毎月第四火曜日夜七時から集います。別院行事(降誕会、お盆、報恩講)に参加し、例会では正信偈のころ(教材)を学んでいます。また郊外研修として、函館山の夜景を楽しんだり、いちご狩りもしました。その都度、係りの方がプランを練っています。

今年、六月二十七日、郊外研修として宮前町の三門徒派の専徳寺様にお参りさせて頂いたいただきました。函館に住んでいながら知りませんでした。三門徒派は、どちらかと言えばお東のお莊嚴に近いそうです。重誓偈をあげてすがすがしい気持ちで専徳寺様をあとに、雨の中グリーンピア大沼に行き、おいしいお昼をいただき、年を忘れて何十年振りのボウリングを大いに楽しみ、温泉でゆったり汗を流しのんびり遊んできました。

このように、お勉強したり、郊外研修に出かけたり、皆様と親しく仲良くなりましょう。こんな覚信尼会へどうぞ。 覚信尼会会長 岸田桜子

龍谷幼稚園だより

こどものつばやき

★虫捕り

天気の良い日。T先生が虫捕り網で虫を捕まえようと探しても、どこにも虫が見あたりません。T先生「虫がないよ〜」すると… R君 「じゃあ僕が虫になってあげる!!」 「ミーン・ミーン」捕まえて遊んでいると、皆が虫になりはじめ…しまいには、ハチに変身した子ども達が、T先生のお尻に「チクッ!!」捕まえるどころか、逃げまわるT先生でした。



★しゃぼん玉

しゃぼん玉液の準備をしていると… Yちゃん「先生何してるの〜?!」
もしかしてしゃぼん玉するの〜?!」
T先生「そうだよ!!」
Yちゃん「わーい!!しゃーぼんだまとんだ〜♪」と大喜びで歌い出すYちゃん。それを心地よく聞いていると… Yちゃん「屋根まで飛んだ♪お星様キラキラ金銀すなご?? あれ??お星様になっちゃった」と…。
照れ隠しにデヘッと笑ってみせる可愛いYちゃんでした。

預かり保育 ご案内

さんさん
燦燦
クラブ

- ◎お仕事をされているお母さんのために。
- ◎用事でしばらくみて欲しい人のために。
- ◎幼稚園の保育がすんだあと夕方6時30分までお預かりします。

- ★対象 龍谷幼稚園児並びに2歳以上の弟妹
- ★担当 幼稚園の先生
- ★内容 保育終了後毎日/幼稚園振替日/夏・冬休み
- ★保育料 園までお問い合わせ下さい。

平成18年度 園児募集

人の心のやさしさ(慈悲のこころ)を伝える宗教教育、それが **龍谷幼稚園** です。

願書受付中

龍谷幼稚園 ☎23-0274